

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主題
平和を実現する人々は幸いである一マタイによる福音書5章9節

日本YWCAビジョン2015
(1) 非核・非暴力による平和を構築する
・ 平和憲法をまもり、世界に広める
・ 市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
・ 女性と子どもの権利をまもる
・ パレスチナYWCAの活動を支援する
(2) 若い女性のリーダーシップを養成する

YWCA 4

APR. 2010

発行所 日本YWCA
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
【四谷オフィス】
〒160-0008 新宿区三栄町6-12 2F
Tel. 03-5367-1872 / FAX 03-5367-1873
E-mail. office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 俣野尚子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円(送料込)

www.ywca.or.jp

4月24日は世界YWCA日です 女性が創りだす安全な世界



1855年にイギリスに誕生したYWCAは、以来150年以上にわたり、女性と少女がリーダーシップを発揮してよりよい社会へと変革するために活動してきました。1947年からは4月24日を「世界YWCAデー」として、世界中のYWCAでこの特別な運動の歴史を祝ってきました。今年の世界YWCA日は、「女性が創りだす安全な世界」(Women Creating a Safe World)がテーマです。このテーマは、女性と少女の私的・公的領域における安全の重要性を焦点に、女性への暴力と、HIVおよびAIDSの関係性について取り組む、次期世界YWCA総会(2011年、スイス チューリッヒ)を主眼に設定されました。

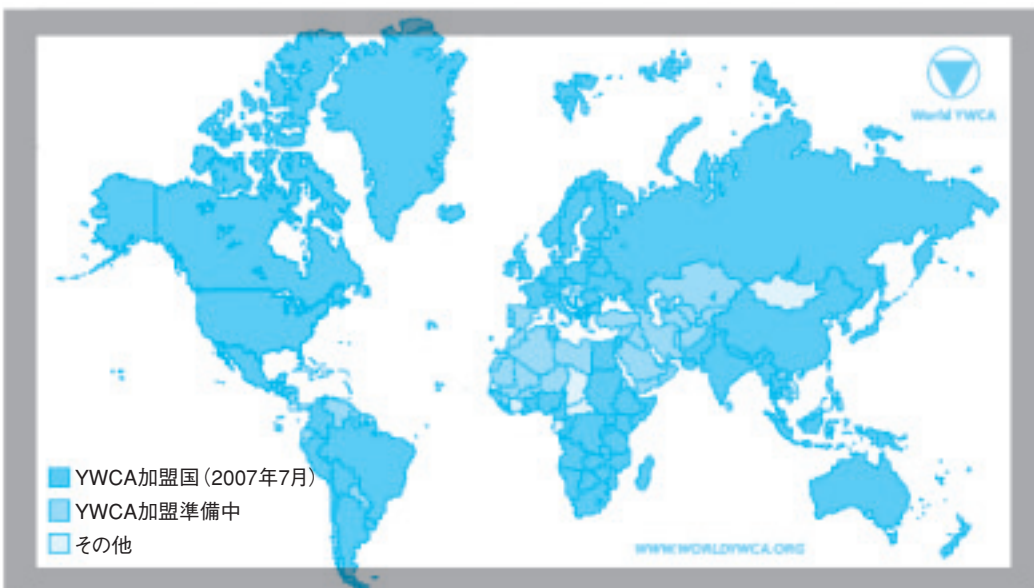
「世界YWCA日が女性一人ひとりの安全について考える日になり、それが次期世界YWCA総会へとつながっていくことをとてもうれしく思います。この問題は、今まさに、世界中の女性がさまざまな状況

において直面している時代に即した問題です」とスーザン・ブレナン世界YWCA会長(写真)は2009年の世界YWCA日に述べています。

ニャラザイ・グンボンズバンダ世界YWCA総幹事は「世界YWCAは、2011年世界YWCA総会への皆さんの参加を歓迎します。世界YWCAは、女性に対する暴力の撲滅・HIVおよびAIDSの予防・妊産婦の死亡の歯止め・性感染症の予防・若年結婚の廃止のために、そのエネルギー・知識・専門性・リソースを活用しています。さらに、若い女性のリーダーシップを活動の中心にすることで、より活発に持続可能な活動になると考えています」と語りました。

世界YWCA日朝食会は、YWCAや各地域でリーダーシップを発揮した女性を称え、絶好のファンディングの機会となります。「女性のリーダーシップに投資することは、未来に投資することでもあります」と語るのは、世界YWCAファンディング・コーディネーターのリン・ソレンティノです。「リーダーシップとは、社会において何かを実現することであり、物事の進め方や見方に影響を与えることです。どんなコミュニティ・運動・組織や国家であれ、団体が変化を引き起こすために協働する集団的能力、それこそがリーダーシップなのです。世界YWCAは、どの女性にもリーダーとなる可能性と能力があると信じています」。

2010年の世界YWCA日を、安全な世界を創りだす女性たちのリーダーシップを祝い、またYWCAの働きを広く社会にアピールする機会にしましょう。(参考:世界YWCAホームページ、翻訳協力:吉田亜紀)



どこにもいかない



又吉京子
沖縄YWCA会員・ぎのわん
セミナーハウス館長代行

私が生まれる前から存在していた「米軍基地」。戦争を生き残った親世代が平和の島を作らねばと願い、圧倒的権力と優位を持つ米軍に対し戦い取った平和憲法下の「日本本土復帰」。その版図の中で大人になった私たち。沖縄の社会に対する責任と、次世代の子どもたちへ責任を負う者として沖縄の現状を考えた。えつつ行動し、また考える連続の復帰38年間でした。

その大きな課題が「米軍基地」です。親世代も私たちも平和の島を建設することを願っていた「軍事基地」撤去を叫び続けてきました。

しかし、一向に撤去される兆しもなく、気がつけば人口1%の沖縄に、在日米軍の74%の専用基地を押しつけられている現状が明らかになっていました。

●

そのことを強烈に意識させられたのは「普天間基地」撤去・移設問題でした。96年日米両政府の普天間基地の返還表明は全世界の基地の負担を考える機会でした。

この日本政府の政策を口実に多くの日本人は無関心でいられた。そして、沖縄が苦渋の選択をしたことをもって、「やっぱり沖縄は基地がないと生きていけないのだ」と言う。

普天間基地周辺に住む女性たちを中心に活動する「カマドウー(カマ)小たちの集い」は、普天間基地の移設は沖縄の「どこにもいかない」との意思表示として「県外移設」を当事者として主張しています。それは、基地を押しつけられ続けてきた沖縄から日本人への問いかけでもあります。

つまり、日米安保条約下に住む全国の人々が当事者として普天間基地の駐留と訓練の機能を引き受ける中で、全国の「どこにもいかない」との声になりうるし、沖縄とアジアへの連帯につながり、米国へ日本民衆の平和メッセージになりえると思います。

不平等に扱われる中に軍事基地は存在します。普天間基地の移設問題は日本人の問題なのです。「どこにもいかない」というためにも本土移設を検討・議論することは安保を見直すチャンスです。そのチャンスを失わないでください。



を引き出し宝を生かして活動していきます

第30総会期 新運営委員座談会

昨年11月の全国会員総会で、大学生を含む6人の青年から経験豊かなベテランまで、15名の多彩な運営委員(*)が選出されました。このメンバーで、今総会期から回数を減らすかわりに1泊2日となった運営委員会を活発に進めています。3月の運営委員会では、この3年間の活動計画案と組織=組織図参照=を検討し、それぞれの部署が活動しています。今号では、会長を含む4名の運営委員による座談会をお届けします。

*会則改正に伴い、これまでの常任委員は第30総会期より運営委員という名称となりました。



吉村千恵 (副会長・京都YWCA会員)



俣野尚子 (会長・東京YWCA会員)

まず、第30総会期運営委員を引き受けようと思った理由を教えてください。

結果ではなく、行動を重視するという傾向だったのが、今総会期は、評価も含めた活動計画をスピード感を持って立案することができています。課題が山積している今、大事なことだと思います。

■吉村 私は前々(第28)総会期、常任委員に青年枠が設けられた時、常任委員になりました。YWCAは組織としての風通しがよく、楽しく活動をしてきました。その後フィールド調査のためタイに滞在し、昨年末に帰国したばかりなのですが、YWCAでやりたいことがたくさんあり、今回は副会長をお引き受けしました。

■俣野 私の職場は、歴史のある、高級志向の店なのですが、数年前、駅中でコンビニ・スタイルの店をスタートしたところ、よい業績を上げています。扱っている商品は他店と変わらないのですが、パッケージを変えたり、商品を小分けにしたりと、売り方を変えたところ、店の面積が狭いにもかかわらず、よい売り上げです。

■万年 大学生のときに中央委員をやりましたが、その時は何も分からず何も出来ずじまいでした。前総会期は、自分なりの専門分野を生かす形で常任委員を務めました。それは、若い頃YWCAにお世話になった恩返しという気持ちからでした。今回お引き受けしたのは、前総会期3年間常任委員をやり、YWCAは可能性を秘めているけれど、それをうまく引き出せていない、それを自分たちの手で引き出し、YWCAがYWCAらしく日本で活動していけたらいいなと考えたからです。

現在のYWCAを考えたとき、YWCAが持っているものが、それは地域の活動ですが、それを生かし切れていないのが今の課題だと思っています。「品物」が悪いのではなく、見せ方・伝え方を工夫し、新しい人・若い人にあつた表現、ラッピングにすることで、より伝えられるのではないかと。先輩方が築いてきた活動を、いかに伝えるかによって、地域の中で輝きを持てる存在になれたらよいと、そして今がその時だと思っています。数は多くないけれど、若い人たちが活動を担っていることも、一方活動を支えているシニアの存在も共に宝です。私は「時」を大切に思うのですが、YWCAを活性化していく上で、今が与えられたその「時」だと感じています。

■吉村 今、組織を立ち上げているところで、ビジョン展開・組織力向上・リーダーシップ養成、それぞれのことを考えながら、各部署が連携しながら、できることから確実にやっています。互いに協力して、生かし合い、皆で夢を語る場であつたらいいなと思っています。

■万年 運営委員として2期目ということもあり、同じく2期目の運営委員たちと相談しながらやっていけるのが励まされています。これまでYWCAは、

今総会期の運営委員には、YWCAのサポートを受け国際会議に出席し、さまざまな経験を積んできた方たちが多くいます。お一人もそうですが、そうした

(3面に続く)

第30総会期新体制スタート

日本YWCAは、地域に連なるYWCAの取り組みなしには存在しません。その取り組みが生かされ、地域においてそれぞれのYWCAが発信して下さって運動がさらに強められていくことができるような役割を日本YWCAが果たすことが必要です。また、日本YWCAは世界に連なっています。第30総会期は、この地域をつなげ、世界につながる役割をより果たすことができる組織になりました。

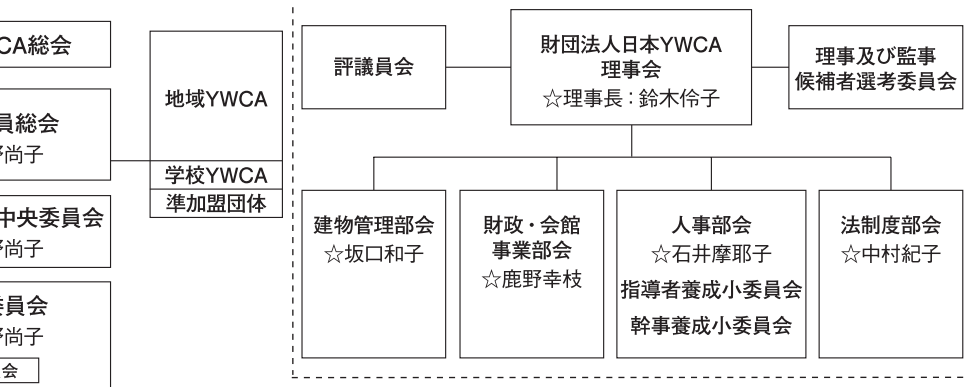
日本YWCAが目指す運動は、ビジョン2015を展開していくことです。私たちの取り組みすべてが社会貢献事業であり、ビジョン2015「①非核・非暴力による平和を構築する②若い女性のリーダーシップを養成する」を展開することです。中でも、①国際的にも発信していく役割を果たしていきたい。これを「国際事業」としてまとめました。世界YWCAとの連携を密にしながら、これまで行ってきた「ひろしまを考える旅」や「日韓ユースカンファレンス」「南京を考える旅」など、東北アジアの平和構築の歩みを確かなものにする、継続的なプログラムを、単なるプログラムとしてではなく、新しい人・若い人が関わることでできるチャンスと考え、展開していきます。

そして、④現在どのYWCAも、厳しい財政状況にあることを考え、効果的な「広報事業」に力を入れて、工夫した資金調達(ファンドレイジング)を試みていきたいと思っています。これら四つの事業が連携して全国の活動を強めていきたいと考えています。

日本YWCAが目指す運動は、ビジョン2015を展開していくことです。私たちの取り組みすべてが社会貢献事業であり、ビジョン2015「①非核・非暴力による平和を構築する②若い女性のリーダーシップを養成する」を展開することです。中でも、①国際的にも発信していく役割を果たしていきたい。これを「国際事業」としてまとめました。世界YWCAとの連携を密にしながら、これまで行ってきた「ひろしまを考える旅」や「日韓ユースカンファレンス」「南京を考える旅」など、東北アジアの平和構築の歩みを確かなものにする、継続的なプログラムを、単なるプログラムとしてではなく、新しい人・若い人が関わることでできるチャンスと考え、展開していきます。

そして、④現在どのYWCAも、厳しい財政状況にあることを考え、効果的な「広報事業」に力を入れて、工夫した資金調達(ファンドレイジング)を試みていきたいと思っています。これら四つの事業が連携して全国の活動を強めていきたいと考えています。

日本YWCA会長 俣野尚子



ビジョン2015の実現をめざす

青少年事業	広報事業
中高YWCA委員会 *加盟校及び地域YWCAとの連絡・調整 *顧問総会・研修会の実施 *大学YWCAの調査 ★杉村みどり、寺島順子	編集委員会 *機関紙の編集・発行 ★実生律子、寺島順子
	広報&ファンドレイジング委員会 *HPの更新 *VIの共有と徹底 *寄付獲得のためのシステム作りと実施 *寄付グッズの開発 *キャンペーンの実施 ★藤谷佐斗子、今地裕美子、大野綾子、吉村千恵



わたしたちの「戦争責任」と「平和への責任」

2009年11月、日本YWCAは「アジア・太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明文」を採択した。これは私たちが世界の人人々と共に平和を構築していく再スタート宣言である。しかし、実際に会員としてどのように向き合えばよいのか、どう共有し、活動を展開していけばよいのかを考えるために、1995年に「不戦決議」を行った真宗大谷派の解放運動推進本部の僧侶、山内小夜子さんを今年の2・11集会にお招きした。

現在、大谷派は非戦を貫き処罰された僧侶の名誉回復や、平和展の開催等を行っている。山内さん自身も靖国問題に熱心に取り組み、南京が陥落した12月13日には毎年、中国の僧侶と共に現地でも平和法要を行っている。それでも平和への取り組みは「まだまだ宿題だらけ」という言葉が胸に響いた。そして「宗教は政治に利用される」という言葉も自省をもって受け止めた。私たちの求める正義が、偽の平和に利用されないように、この決意表明文を携え、世界の人人々と平和と和解の道を探っていききたい。

京都YWCA 今井貴美江

卒業生へ「YWCAパスポート」プレゼント

将来の夢の実現への手がかりとしてほしいと、日本YWCAは、今春高校を卒業する、全国35中高YWCAの160名のメンバーに「YWCAパスポート」をプレゼントしました。

仙台YWCAでは、卒業式を間近に控えた宮城学院へ伺い、中高YWCAの生徒さんたちに「YWCAパスポート」を直接手渡しました。先生方も生徒さんたちも、機会があれば仙台YWCAの活動への参加を望んでくださっていて、心強く、うれしく思いました。和やかに感謝の時を持ちました。

(仙台YWCA 齊藤優子)



地域YWCA連絡先

(2010.3現在)

Table with columns: 地域YWCA, 〒, 住所, TEL, FAX, ホームページ. Lists contact information for various regional YWCA branches across Japan.

中高YWCA

日本YWCA加盟の全国35の学校YWCAが活発に活動しています

- List of 35 member schools including: とわの森三愛高等学校, 北星学園女子中学校・高等学校, 遺愛女子中学校・高等学校, etc.

ご協力ありがとうございます。賛助費(以下敬称略) 赤石めぐみ, オリブの木募金, 添野ふみ子, 小波津喜美, バレスチナYWCA支援募金, 名古屋YWCA, アジア太平洋地域被災者支援募金, 東京YWCA, ハイチ大地震被災者支援募金, 北川彌生, 遠藤真理, 武内富貴代, 実生律子, 泰地八雲, 山根くに子, 梅本弘子, 西文子, 江尻美穂子, 江副真理, 池田美恵, 田中美智子, 関直子, 沖村典子, 笠原美紀子, 大野綾子, 飯田徹, 齋藤喜子, 田中愛子, 松山東雲中学校高等学校, 福岡女学院中学校高等学校宗教部, 横浜英和学院, 北陸学院高等学校, フェリス学院中学校高等学校, ホワイトボックス, 呉YWCA, 松山YWCA, 福岡YWCA, 静岡YWCA, 福岡YWCA, 武内富貴代, 松山YWCA, 福岡YWCA, 名古屋YWCA, 国際協力相互援助, 甲府YWCA, 新潟YWCA, 長崎YWCA, 湘南YWCA, クリスマス献金, 活水中学校高等学校, 日本基督教団六角橋教会, 日本基督教団阿佐ヶ谷教会, 日本キリスト教団松戸教会, 日本基督教団代々木上原教会, 日本キリスト教団静岡教会, 日本YWCA 西東京コミュニケーションセンター, YWCA グローバル基金, 横浜英和女学院中学校高等学校, 一般寄付, ストップ子ども買春の会, 坂口和子, 江尻美穂子, 鈴木伶子, 匿名 (2010年2月20日現在)